



# 富山・高岡・黒部 北陸新幹線 3市長サミット

約10年後に開通が見込まれる北陸新幹線による地域経済発展と生活領域の拡大効果への期待は、日増しに高まっております。富山県内の新幹線停車駅となる新黒部・富山・新高岡の3駅が果たす役割や県下全域に及ぼす便益は、多大なものになると考えられます。県100年の大計といわれる北陸新幹線の魅力ある駅およびまちづくり、そしてそれぞれの市・地域の連携効果などをテーマとしたサミットを開催します。

## 「どう生かす新幹線－観光振興とまちづくり」

### プログラム

13:30 開会

- 0 ご挨拶 富山県知事 石井 隆一 氏
- 0 ご挨拶 北陸経済連合会会長 山田 圭蔵 氏

13:50 提言

日本政策投資銀行地域企画部 参事役  
未来観光戦略会議 アドバイザー会員  
藻谷 浩介 氏

- 提言1 開通は「目標達成」ではなく「起点」  
－これから始まる本当の地域間競争に向けて覚悟と備えを！
- 提言2 「通過県」ではなく「目的県」となる  
－3駅連携で他地域に負けない集客・交流産業振興を！
- 提言3 「東京的に」ではなく「富山的に」なる  
－降りてひと目で富山に来たとわかる駅周辺整備を！

14:10 休憩

14:20 パネルディスカッション

パネリスト 富山市長 森 雅志 氏  
高岡市長 橋 慶一郎 氏  
黒部市長 堀内 康男 氏  
コーディネーター  
北日本新聞社高岡支社編集部長  
松本 正 氏

15:50 質疑応答  
閉会

### 北陸新幹線 3市長サミット 実行委員会のご紹介

#### 富山駅周辺開発協同組合

昭和46年9月に富山駅周辺の振興及び活性化を推進する目的に設立。来るべき北陸新幹線の開通を控え、県都富山市の「顔」として誇れる富山駅の景観づくりと、皆様から愛され親しまれ、楽しめる環境づくりを目指し、行政や商工会議所と連携しながら、より一層の積極的な活動を展開してまいりたいと考えております。理事長は、白倉三喜(CIC社長)。

#### 高岡南部地域活性化推進協議会

平成3年に高岡南部地域の都市化発展策の研究、討議により新しいまちづくりに資することを目的に地域の企業、住民団体等が参加して設立され、会員のご協力を得ながら情報発信、要望、提言等推進してきました。以来、当地域では各種の公共施設が新設され、商業化も急速に進展しています。今後の課題として県西部、高岡の100年の大計の北陸新幹線新高岡駅周辺整備について取り組んでおります初代会長は故高木正明(タカギセイコ一会長)、現在、会長代行は永田義邦(永田メディカル社長)。

#### 黒部まちづくり協議会

平成9年6月創立。平成14年7月NPO法人となる。個性があり(華)、自然豊か(花)、ひとり一人が知恵を出し合い(英)、みんなで「華(はな)・花(はな)・英(はな)」のあるまちを創ってこうとする集まりです。現在、サクラWS、国際交流WS、新幹線市民WS等、6つのワークショップと8つのプロジェクトを中心に活動を行っています。会長は吉田忠裕(YKK社長)。

#### 未来観光戦略会議

平成15年5月設立。産学公を中心としたNPOのシンクタンクとして富山・北陸地域における観光のプロデューサー、コーディネーターの役割を担うべく外国人訪日観光客誘致における双方向文化観光及び国際広域観光ゲートウェイの開発による新たな未来型観光の創出、観光産業の活性化、産学公交流・企業誘致等の促進を目的としている。会長は松原吉隆(CDL社長)。

Kurobe

### 富山市長プロフィール



森 雅志

富山市呉羽出身。司法書士・行政書士を経て平成7年富山県議会議員に初当選。平成14年富山市長に初当選、平成16年北信越市長会長に就任、現在に至る。好きな言葉は「知行合一(ちこうごういつ。知識も行動もひとつの熱い思いから発している、の意)」。趣味は雑文を書くこと、韓国語、イタリア語会話。

北陸新幹線は、日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展に不可欠であるとともに、富山県の飛躍的な発展を図るうえで大きな効果をもたらすものと確信しております。また、県都の玄関口にふさわしい富山駅南北一体的なまちづくりの実現に努めます。

### 高岡市長プロフィール



橋 慶一郎

高岡市出身。昭和59年北海道開発庁入庁。平成3年同庁企画室開発専門官。平成5年伏木海陸運送(株)に入社し代表取締役副社長、社長、会長、ほか高岡商工会議所副会頭を歴任。平成16年5月高岡市長に初当選、現在に至る。座右の銘は「面白いと思う気持ちを大切に」。趣味は読書、子供との団欒。

新高岡駅は高速道路網の整備と相まって、県西部だけでなく、飛騨、能登地域も含めた玄関口となります。観光、文化、産業の発展につながるよう、新駅周辺整備などを着実にを行い、県西部地域の中核的都市にふさわしいまちづくりを進めます。

### 黒部市長プロフィール



堀内 康男

黒部市出身。昭和52年、東海産業(株)入社。昭和55年(株)堀内商会入社。平成10年同社代表取締役役に就任。平成16年8月黒部市長に初当選、現在に至る。好きな言葉は「凡事徹底」。趣味は登山、ゴルフ。

「名水の里 住みよい黒部」を将来都市像とする黒部市は、北陸新幹線整備や国道8号バイパスなどの市内基幹道路網等の整備をはじめ、観光、産業、福祉などの充実に向け、地域ならではの特性を活かした都市基盤づくりに取り組んでいきます。

Takaoka

Toyama